

理事主題 Challenges for the future 未来への挑戦

事業主任主題 ワイズの炎を燃やせ！ 活気あふれるクラブライフを謳歌しよう！

目次

- 1) 今号のダイジェスト
- 2) 福山クラブさんの取り組み
- 3) 大阪サウスクラブさんの取り組み
- 4) 編集後記

今号のダイジェスト

西日本区の皆様、こんにちは。EMC 事業主任の山口です。いつもお世話になり、ありがとうございます。第8号のダイジェストです。

1) 福山クラブさんの取り組み

西中国部に所属する福山クラブさんは、支援されていた YMCA を失われ、一時は解散も考えられたほどでしたが、いろいろな決断をもって、今期会員を増強されています。会長の上久保さんにご寄稿いただきました。

2) 大阪サウスクラブさんの取り組みを拝見して

毎月送られてくるブリテンを拝見し、EMC の取り組みを進められている大阪サウスさんを一目見たいと例会訪問しました。今期の大阪サウスさんの取り組みのご紹介です。

3) 編集後記

~~~~~

Now, let's start the newsletter! I hope you enjoy it!

<インフォメーション>西日本区大会における表彰について

6月11日に岡山で開催される第25回西日本区大会においてEMCの表彰を例年通り行います。4月になりましたらクラブ会長の皆様へ表彰の申請書をお送りしますので、該当項目についてご返信をお願いします。また、「西日本区 EMC パートナー賞」について、今期も推薦を受け付けますので、上記の申請書と合わせてクラブから推薦をお願いします。

<編集>

西日本区EMC事業主任  
山口 雅也  
(京都キャピタル)

## 目 次

- 1) 今号のダイジェスト
- 2) 福山クラブさんの取り組み
- 3) 大阪サウスクラブさんの取り組み
- 4) 編集後記

## 福山クラブの今期活動への思い

福山ワイズメンズクラブ 会長 上久保昭二

2020年は、コロナ禍で迎えた福山クラブ設立40周年の年であり、福山YMCA閉館の年でもありました。44年前の福山YMCA誕生から2年後に設立された福山ワイズメンズクラブは、ほぼYMCAと一心同体で様々な地域活動や国際活動を展開して社会貢献を果たしてきました。しかし、YMCAがなくなるのにワイズメンズクラブの存在意義がどこにあるのかという問いに対して、一時は解散しようという話も出ました。しかし、先達の思いや歴史の歩みを切実に思うとき、簡単には終われないという強い思いと検討の末、継続することを決断いたしました。

残ったメンバーは一時2名となり、その2名とも広島市の在住であったため、福山エリアでの活動は現実的に無理と判断し、名称はそのままにして活動拠点を一旦広島エリアに移すことで、継続、再開を決意した次第です。いずれは備後地区を含む広島県広域、あるいは「せとうち」といった広範な構想の可能性も秘めています。

今期から新たに担当主事を含めて3名からスタートいたしました。半年経過した1月には2名の新規メンバーが入会、4月からは広島クラブからの転入があり、『継続は力なり』をモットーに楽しい例会づくりに励んできました。やれることはやる！とチャレンジ精神旺盛のメンバーで頑張っています。

当面は、「平和」という活動のテーマを常に念頭に置き、心を合わせて活動を実践できればと思っています。今期会長主題の『平和の発信、ワイズの心、Yの心』がすべてです。心がけていることは、“つながりを大切にしたい和やかな例会”です。今期末には、8名の在籍を目指しています。

&lt;編集&gt;

西日本区EMC事業主任

山口 雅也

(京都キャピタル)

## 目次

- 1) 今号のダイジェスト
- 2) 福山クラブさんの取り組み
- 3) 大阪サウスクラブさんの取り組み
- 4) 編集後記

## &lt;編集&gt;

西日本区 EMC 事業主任  
山口 雅也  
(京都キャピタル)

## 大阪サウスクラブさんの取り組みを拝見して

西日本区 EMC 事業主任 山口雅也

3月1日(火)大阪南 YMCA 2階ライブラリーで開催された大阪サウスクラブさん3月公開例会に参加しました。毎月大阪サウスクラブさんから送っていただくクラブブリテンを7月から毎月見るたびに、行ってみたい。一度クラブ例会を見てみたい。という思いに駆られての参加でした。

大阪サウスクラブさんは、阪和部に籍を置かれる1956年にチャーターし、昨年度65周年を迎えられたクラブです。メンバー数は17名です。最初に目を引いたのは、8月号の例会プログラムが「懇親話し合い これからの大阪サウスクラブについて」と題されていたことでした。

今期のEMC事業の特長として、自クラブの強み弱みを把握して、EMC事業計画を立案・実行する事をお願いしていましたので、まさに自クラブの事をメンバーが話し合う機会を例会で持たれていることに驚きを感じました。9月号のブリテンは待ち遠しく、8月の例会の内容が記載されていました。

そして11月号のブリテンと共に1枚の公開例会のチラシが同封されていました。とてもパワフルなゲストスピーカーをお呼びした例会案内でした。12月のブリテンには、ゲストが10名、ビジターが7名、オンラインでの参加14名を含む48名の例会であったこと、ゲストスピーカーの「人は変わる、一緒なら」という講演の内容を拝見しました。



<11月開催の公開例会のチラシ>

オンライン含む 48名の例会  
ゲスト 10名ビジター7名の参加

(次頁に続く)

## 目 次

- 1) 今号のダイジェスト
- 2) 福山クラブさんの取り組み
- 3) 大阪サウスクラブさんの取り組み
- 4) 編集後記

## &lt;編集後記&gt;

今号も最後までお読みいただきましてありがとうございます。まん延防止措置も全国的に解除されて、通常のクラブ活動に少しずつですが戻れるといいですね。次期 EMC への引継も含め、最後までメンバー数の増強をお願いします。

(山口)

## &lt;編集&gt;

西日本区 EMC 事業主任  
山口 雅也  
(京都キャピタル)

(前頁より続く)

そして、2月号と共にまた1枚の公開例会のチラシが同封されていました。私はとても参加したくてたまらなくなりました。一度この目でごんな取り組みをされるクラブを見てみたい一心で思い切って参加を申し込みました。

当日はまん延防止措置の期間でしたが、感染対策を施したオンライン併用の開催で、ゲストも来られ、受付では木下会長さんの歓迎を受け、例会の内容もプログラムに沿って落ち着いて楽しめるものでした。

例会後には木下会長さんからお礼のお葉書もいただき、例会のプログラム委員長の恵美奈さんとメールをやりとりする中で、以下のように伺いました。

・何とか若いメンバーに入会をしてほしいと思い、一昨年8月例会を「納涼例会」から「EMCを目標にしたクラブフォーラム」を実施していること

・今期はそのことから第3例会(第3火曜日)にZOOM会議を開くことを決め具体的なテーマを決めて話し合いを進めていること

・少しずつ改良点やEMCへの取り組みに向けた話し合いができるようになってきたこと

このような取り組みを続け、磨きをかけることで、メンバーの意識も高まり、ほんの少しのきっかけでクラブが変わっていくのではないかと思います。



<3月公開例会の様子>